

2019 年卒  
Vol.04

## 3月1日時点の就職活動調査 〈速報〉

キャリアス就活 2019 学生モニター調査結果 (2018年3月発行)

2019年卒者の採用広報が3月1日に解禁され、多くの学生が就職活動を本格的にスタートした。「キャリアス就活 学生モニター」の解禁直後の就職活動状況や意識について調査を行ったところ、前年同期調査に比べ全体的に動きが早まっており、志望企業の絞り込みがハイスピードで進んでいることがわかった。取り急ぎ主要指標のみ紹介したい。

### 1. 3月1日時点の内定状況

- 内定率は8.0%。2月(4.6%)より3.4ポイント上昇
- 前年同期実績(6.0%)を2ポイント上回る
- 内定企業の6割超(62.7%)は「インターンシップ参加企業」

### 2. エントリー状況

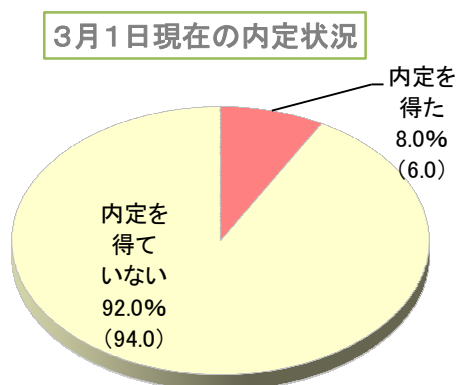
- 一人あたりのエントリー社数の平均は22.4社。前年調査(26.3社)を3.9社下回る
- 今後の予定社数の平均は13.3社。前年調査(16.4社)より3.1社少ない

### 1. 3月1日時点の内定状況

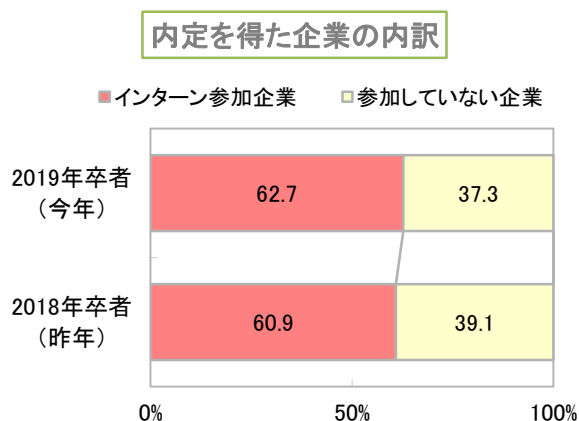
2019年卒者の就職戦線はまだ始まったばかりではあるが、調査時点ですでに内定を手に行っているという学生は全体の8.0%。2月調査(4.6%)から3.4ポイント上昇した。前年同期(6.0%)を2ポイント上回る。

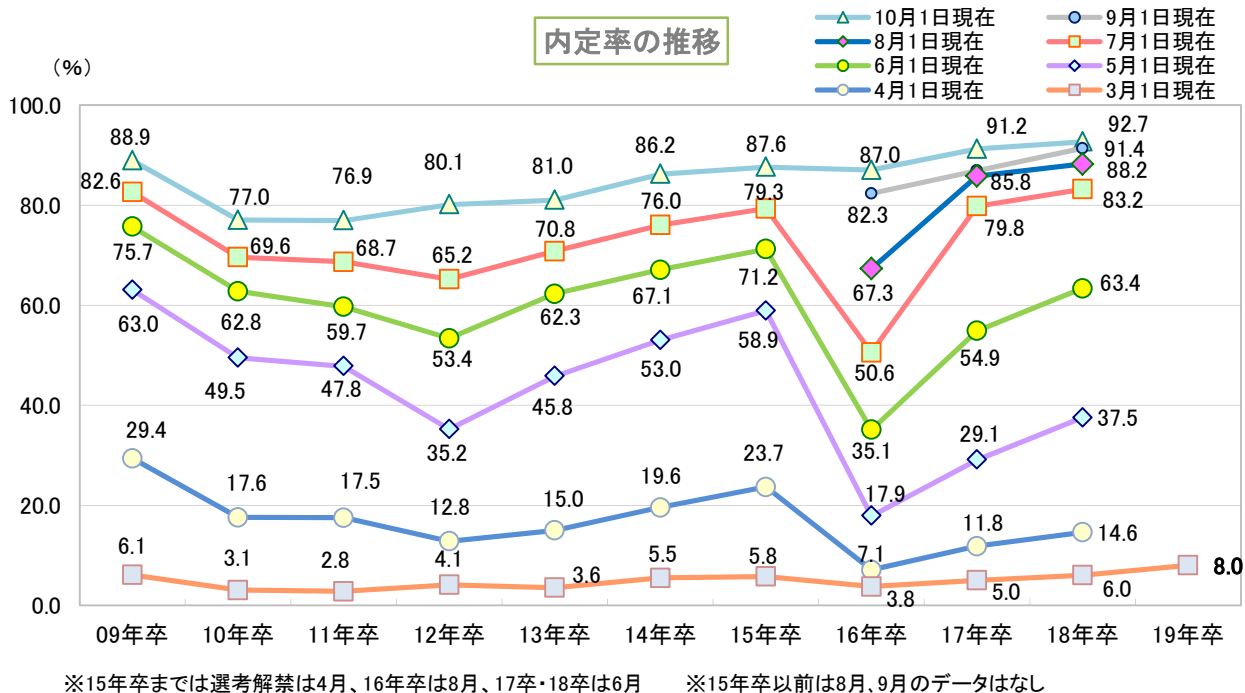
2月調査では、インターンシップ参加企業を中心に早くも本選考を受験する動きが見られた。そこで今回、内定を得た企業のインターン参加経験有無を調べたところ、内定企業の6割超(62.7%)がインターンシップに参加した企業だった。

内定取得学生の9割(90.1%)が就職活動を継続していると回答しており、インターンシップ企業の内定を足掛かりに、就職活動を本格化させようという思惑が透けて見える。



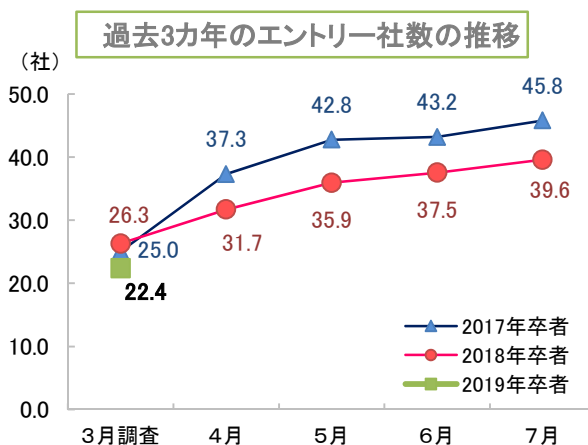
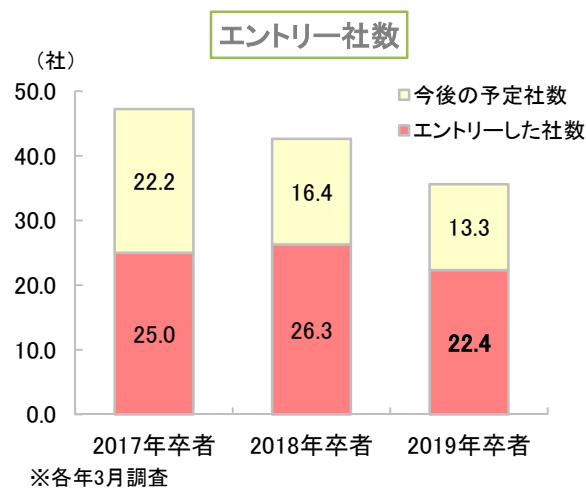
\*「内定」には、内々定を含む  
※( )内は2017年の同調査での3月1日現在の数値





## 2. エントリー状況

一人あたりのエントリー社数の平均は22.4社。前年同期調査（26.3社）を3.9社下回り、割合にすると15%近く減少している計算だ。さらに、今後のエントリー予定社数は平均13.3社で、前年同期調査（16.4社）より3.1社少ない。エントリーのタイミングが遅いのではなく、絞り込みが進んだ結果だと捉えるのが妥当だろう。今年の就活生の最終的なエントリー社数は前年を下回る可能性が濃厚だ。



## 調査概要

調査対象：2019年3月に卒業予定の大学3年生（理系は大学院修士課程1年生含む）  
 回答者数：1,258人（文系男子412人、文系女子405人、理系男子288人、理系女子153人）  
 調査方法：インターネット調査法  
 調査期間：2018年3月1日～6日  
 サンプルング：キャリアス就活 2019 学生モニター（2016年卒以前は「日経就職ナビ・就職活動モニター」）

◆本資料に関するお問い合わせ先：03-4316-5505 / 株式会社ディスコ キャリアスリサーチ